

数的処理 HR 学習方法①

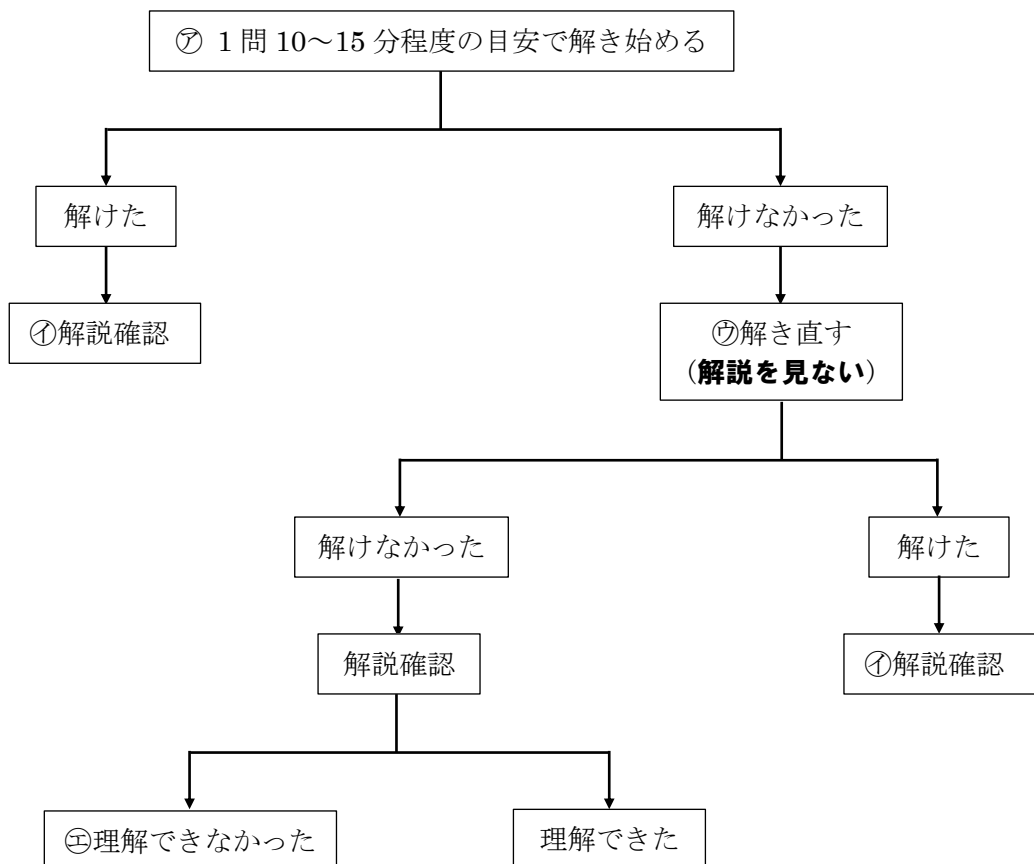
◆一通りの学習をしている段階での学習方法◆

◎ 今は、「**量より質**」を重視した学習

最低限の内容は、

- ① 講義で扱ったすべての内容の復習(できれば、1 週間以内で)をします。
- ② 講義で扱わなかったレジュメの問題および問題集から、1 日 2 問程度を解きます。
無理なら、週末にまとめて、10 問程度で構いません。

～初見の問題に対して～



- ㊦ 1 問ずつでなくても複数問まとめて時間を計ってもよいです。
- ㊧ 別解を考えてもよいです。
- ㊨ ここでは、**時間を気にしません**。解けないからといって、考えることを放棄して解説に頼らないようにしましょう。ただし、レジュメなどで、公式などの確認はしてよいです。
- ㊩ 「質問メールを出しましょう」または「自分で調べましょう」。さらに、そのまま放置しておくのもあります。

このように見ていくと、解けなかった問題に対しての対処法には時間がかかることがわかります。なので、今現在では、1 日に解ける問題は、2 問程度で十分です。少ないと思った人は、この手順を踏んでいないからでしょう。

- ③ 一度解いた問題は、短時間のうちに何度も繰り返して解かないようにしましょう。問題と解説を覚えても初見の問題を解く力にはなりません。よって、2 か月から半年ぐらい先に、再度解くとよいです。
- ④ 計画を立てて、学習することです。本試験までにはある程度期間があるので、本試験ではなく、直近の output を見据えて計画を立てるとよいです。

教養区分は考えていない人 ⇨ 年内いっぱいには前述の内容で十分です。年明けから「量」をプラスして、年明けの択一模試を目標として、計画を立てます。

本命は春試験だけど教養区分で合格したい人 ⇨ 1 日に解く問題数を増やします。6、7 月いっぱいには前述の内容で十分です。8 月から「量」をプラスして、9 月 1 日の過去問演習②を目標として、計画を立てます。

本命が教養区分のみの人 ⇨ 1 日に解く問題数を増やします。7 月から「量」をプラスして、8 月 3 日の過去問演習①を目標として、計画を立てます。

～今後のアウトプットのスケジュール～

注意 受講開始日によって、対応していない内容を含む

◎ 6 月 21 日(火) 教養択一演習①(早稲田校)

22 日(水) 教養択一演習①(新宿校)

◎ 6 月 28 日(火) 教養択一演習②(早稲田校)

29 日(水) 教養択一演習②(新宿校)

◎ 8 月 3 日(水) 過去問演習① ⇨ 2021 年教養区分本試験問題

◎ 8 月 10 日(水) 基礎能力模試①

◎ **9 月 1 日(木) 過去問演習②** ⇨ 2022 年教養区分本試験問題

↑ 教養区分本試験前の最後のアウトプットです。 <1 次試験日：10 月 2 日(日)>

◎ 12 月下旬 基礎能力模試②

◎ 年が明けて、択一模試①、②が(春)本試験前に実施されます。

次回は、7 月の中旬頃に配信予定

学習方法②

「教養区分に向けて～残り 2 か月でやるべき事」＋「既に解いた問題の扱い方」